

- フロントにおいてチェックインする際お渡しします。
- 2 宿泊客がチェックアウトした後、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
- 3 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同上第2項の規定に準じるものとします。

第17条 (駐車場の責任)

宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何に関わらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

第18条 (宿泊客の責任)

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対してその損害を賠償していただきます。

別表第1 宿泊料金の算定方法

		内 訳
宿泊客が支払うべき金額	宿泊料金 追加飲食	①基本宿泊料(室料+朝・夕食料) ②追加飲食(朝夕食及び各コーナーの利用を除く)+サービス料 税金 イ、消費税(①+②)×消費税率 ロ、入湯税 12歳以上に課税
	各コーナー の利用	③各コーナーの利用+サービス料 税金 イ、消費税
	税率に ついて	当ホテルにおいてかかる税率及び税額は以下の通りです。 消費税 5% 入湯税 大人 宿泊150円 日帰り 70円 ただし高校生修学旅行団体は 宿泊 150円

- 備考1. 基本宿泊料はフロントに掲示する料金表によります。
2. 子供料金は小学生～3才までの子供に適用し、子供用食事と寝具の提供にて大人料金の70%、幼児に関しては1名2,000円頂きます。

別表第2 違約金申し受け規定

- (1) 一般客
- イ、宿泊日の3日前より前日までに解除した場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の20%
 - ロ、宿泊当日に解除した場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の50%
 - ハ、不泊の場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の100%
- (2) 団体客(当初契約15名～30名までのグループ)
- イ、宿泊日の7日前より4日前までに解除した場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の10%
 - ロ、宿泊日の3日前より前日までに解除した場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の20%
 - ハ、宿泊日当日に解除した場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の50%
 - ニ、不泊の場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の100%
- (3) 団体客(31名～100名)
- イ、宿泊日の14日前より8日前までに解除した場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の10%
 - ロ、宿泊日の7日前より前日までに解除した場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の20%
 - ハ、宿泊日当日に解除した場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の50%
 - ニ、不泊の場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の100%
- (4) 団体客(100名以上)
- イ、宿泊日の30日前より15日前までに解除した場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の10%
 - ロ、宿泊日の14日前より8日までに解除した場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の15%
 - ハ、宿泊日の7日前より前日までに解除した場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の30%
 - ニ、宿泊日当日に解除した場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の70%
 - ホ、不泊の場合
宿泊者一人につきその宿泊第1日目の宿泊料金の100%

- 備考 1. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数に関わりなく、1日分(初日)の違約金を取受いたします。
2. 団体客(15名以上)の一部について契約解除があった場合、宿泊の10日前(その日より後に申し込みをお引き受けした場合には、そのお引き受けした日)における宿泊人員の10%(端数がでた場合には切り上げます)に当たる人数に関しては、違約金は頂きません。

- Desk at the time of his/her check-in.
- 2 When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, and the ownership of the articles is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
- 3 The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

Article 17 (Liability in Regard to Parking)

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited with the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

Article 18 (Liability of the Guest)

The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Attached Table No.1

Calculation Method for Accommodation Charges (Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

		Contents
Total Amount to be paid by the Guest	Accommodation Charges	1) Basic Accommodation Charge (Room Charge + Breakfast & Dinner) 2) Extra Meals & Drinks + Service Charge 3) Taxes a. Consumption Tax (1+2)×Tax Rate b. Hot Spring Tax (Over 12 years old)
	Other Expenses	4) Over Expenses (Night Lounge and/or others) + Service Charge 5) Taxes a. Consumption Tax (1+2)×Tax Rate
	Tax Rate	The Hotel will be added this tax rate. Consumption Tax 5% Hot Spring Tax (Charged will be over 12 years old) 150 yen (per night) 70 yen (day use)

Remarks:

1. Basic Accommodation Charge is based on the tariffs, which are posted at the front desk.
2. A child's charge applies to children attending elementary school of ages (up to 12 years) and under. 70% of the adult charge shall be required when adult's meals and bedding comparable to those for the adult are provided to such children. 50% shall be required when child's meals and bedding for children are provided and 30% when only bedding for children is provided. For an infant to whom meals and bedding are not provided, 2,000 yen shall be charged.

Attached Table No.2

Cancellation Charges

- (1) Ordinary Guests (Contracted Number of Guest are under 14)
- a. When canceled from 3 days to the day before Accommodation day:20% of the first day charge per person
 - b. When canceled on the day of Accommodation day:50% of the first day charge per person
 - c. No Show: 100% of the first day charge per person
- (2) Group Guests (Contracted Number of Guests are over 15~30)
- a. When canceled from 7 days to 4 day before Accommodation day:10% of the first day charge per person
 - b. When canceled on the day before Accommodation day:20% of the first day charge per person
 - c. When canceled on the day before Accommodation day:50% of the first day charge per person
 - d. No Show: 100% of the first day charge per person
- (3) Group Guests (Contracted Number of Guests are over 31~100)
- a. When canceled from 14 days to 8 day before Accommodation day:10% of the first day charge per person
 - b. When canceled from 7 days on the day before Accommodation day:20% of the first day charge per person
 - c. When canceled on the day before Accommodation day:50% of the first day charge per person
 - d. No Show: 100% of the first day charge per person
- (4) Group Guests (Contracted Number of Guests are over 100)
- a. When canceled from 30 days to 15 day before Accommodation day:10% of the first day charge per person
 - b. When canceled from 14 days to 8 day before Accommodation day:15% of the first day charge per person
 - c. When canceled on the day before Accommodation day:50% of the first day charge per person
 - d. When canceled on the day of Accommodation day:70% of the first day charge per person
 - e. No Show: 100% of the first day charge per person

Remarks:

1. When the number of days contracted is shortened, the cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
2. When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy (when accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions counted as a whole number.

宿 泊 約 款

Terms and Conditions for Accommodation Contracts



第1条 (本約款の適用範囲)

当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。

- 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定に関わらず、その特約が優先するものとします。

第2条 (宿泊契約の申し込み)

当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとするものは、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- 宿泊者名
 - 宿泊日及び到着予定時刻
 - 宿泊料金
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

第3条 (宿泊契約の成立)

宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

- 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までにお支払いいただきます。
- 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

第4条 (申込金の支払いを要しないこととする特約)

前条第2項の規定に関わらず、当ホテルは契約の成立後同項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取扱います。

第5条 (宿泊契約締結の拒否)

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- 満室（員）により客室の余裕がないとき。
- 宿泊しようとするものが、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- 宿泊しようとする方が、暴力団、暴力団員、暴力団関係団体又は関係者、その他反社会的勢力であるとき。
- 宿泊しようとする方が暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき。
- 宿泊しようとする方が暴力団員に該当する者が役員となっている法人、その他の団体であるとき。
- 宿泊しようとする方が、当ホテルもしくは当ホテル従業員に対して暴力的要求行為を行い、あるいは合理的範囲を超える負担を要求したとき。
- 宿泊しようとするものが、伝染病者であると明らかに認められるとき。
- 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- 宮城県旅館業法施行条例5条の規定する場合に該当するとき。

第6条 (宿泊客の契約解除権)

宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

- 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になつても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

第7条 (当ホテルの契約解除権)

当ホテルは次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。

- 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
- 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
- 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- 暴力団、暴力団員、暴力団関係団体又は関係者、その他反社会的勢力であるとき。
- 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき。
- 暴力団員に該当する者が役員となっている法人、その他の団体であるとき。
- 宿泊客が当ホテルもしくは当ホテル従業員に対して、暴力的要求を行い、あるいは、合理的範囲を超える負担を要求したとき。
- 宮城県旅館業法施行条例5条の規定する場合に該当するとき。

Article 1 (Scope of Application)

Contracts for Accommodation and related agreement as to be entered into between this Hotel and Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for herein shall be government by laws and regulations and/or generally accepted practices.

- In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall the precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

Article 2 (Application for Accommodation Contracts)

A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:

- (1)Name of guest (s) ;
 - (2)Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - (3)Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the attached Table No.1) ;and
 - (4)Other particulars deemed necessary by the Hotel.
- In the case when, the Guest requests, during his/her stay, extension of the accommodation beyond the date in Subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Article 3 (Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

- When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
- The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charge under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 if applicable. And the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
- When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2 the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case when the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

Article 4 (Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been conclude as stipulated in the same Paragraph.

- In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be construed as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

Article 5 (Refusal of Accommodation Contracts)

The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:

- When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
- When the Hotel is fully booked and no room is available;
- When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself/herself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his/her accommodation;
- When the Guest seeking accommodation is deemed to be a member of or be linked to organized crime groups or the enterprises that are engaged with such groups, or any antisocial organizations.
- When the Guest is deemed to be a corporate company or an organization that is detected to be under control of organized crime groups or the member of such groups in its business activities.
- When a corporate company or an organization is proven to employ a director who is a member of an organized crime group.
- When the Guest has used violence in making demands of the accommodation facilities or its employees, or has requested the Hotel to assume an unreasonable burden.
- When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
- When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his/her accommodation;
- When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilities and/or other unavoidable causes;
- When the provisions of Article 5 of Miyagi Prefectural Ordinance are applicable.

Article 6 (Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.

- In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment.) the Guest shall pay cancellation charges as listed in the attached Table No.2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
- In the case when the Guest does not appear by 8 p.m. of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the hotel is notified of it.) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being canceled by the Guest.

Article 7 (Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel)

The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the follwing cases:

- When the Guest is deemed liable to conduct himself/herself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to him/her accommodation;
- When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease;
- When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his/her accommodation;
- When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other inevitable cases;
- Any antisocial organizations such as organized crime groups.
- A corporate company or an organization that is detected to be under control of

- ⑩ 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る）に従わないとき。
- 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客が未だ提供を受けていない宿泊サービス等の料金は頂きません。

第8条 (宿泊の登録)

宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- 宿泊客の氏名・年齢・性別・住所及び職業
 - 外国人にあつては、国籍・旅券番号・入国地及び入国年月日
 - 出発日及び出発予定時刻
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

第9条 (客室の使用時間)

宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

- 当ホテルは、前項の規定に関わらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - 超過2時間までは、室料5000円
 - 超過2時間以上は、規定の宿泊料金

第10条 (利用規則の遵守)

宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めて館内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第11条 (営業時間)

当ホテルの主な施設等の営業時間は次の通りとし、そのほかの施設等の詳しい営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等でご案内いたします。

- フロント・キャッシャー等サービス時間：
 - イ、門限 無し (24時間)
 - ロ、フロントサービス 24時間
 - ハ、フロント会計 午前7時00分～午後10時00分
 - 飲食等（施設）サービス時間：
 - イ、朝食 午前7時00分～午前9時00分（レストラン）
 - ロ、昼食 午前11時00分～午後2時00分（レストラン）
 - ハ、夕食 午後6時00分～午後8時00分（レストラン）
 - ニ、その他の飲食等 サービスディレクトリーに掲示
 - 附帯サービス施設時間 サービスディレクトリーに掲示
- 前項の時間は、必要やむを得ない場合には随時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

第12条 (料金の支払い)

宿泊客が支払うべき宿泊料金の内訳は、別表第1に掲げるところによりります。

- 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求したとき、フロントにおいて行っていただきます。
- 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になった後、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても宿泊料金は申し受けます。

第13条 (当ホテルの責任)

当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

- 当ホテルは、消防機関から適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

第14条 (契約した客室の提供ができないときの取り扱い)

当ホテルは宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による宿泊施設を斡旋するものとします。

- 当ホテルは、前項の規定に関わらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料は支払いません。

第15条 (寄託物等の取り扱い)

宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明示を求めた場合であつて、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。

- 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であつてフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明示のなかったものについては15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

第16条 (宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

宿泊客の手荷物か、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任を持って保管し、宿泊客が

- organized crime groups or the member of such groups in its business activities.
- A corporate company or an organization that is proven to employ a director who is a member of an organized crime group.
- When the Guest has used violence in making demands of the accommodation facilities or its employees, or has requested the Hotel to assume an unreasonable burden.
- When the provisions of Article 5 of Miyagi Prefectural Ordinance are applicable;
- ⑩ When the Guest does not observe prohibited action such as smoking in bed, mischief to the fire fighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires.)
- In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he/she has not received.

Article 8 (Registration)

The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation:

- Name, age, sex, address and occupation of the Guest (s) ;
 - For non-Japanese: nationality, passport number, port and date of entry in Japan;
 - Date and estimated time of departure; and
 - Other particulars deemed necessary by the Hotel.
- In the case when the Guest intends to pay his/her Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese Currency, such as Traveler's checks, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

Article 9 (Occupancy Hours of Guest Pooms)

The Guest is entitled to occupy the contracted guestroom of the Hotel from 3 p.m. to 10 a.m. the next morning . However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

- The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
 - Up to 2 hours: room charge of five thousand
 - More than 2 hours: prescribed accommodation charge

Article 10 (Observance of Use Regulations)

The Guest shall observe the Use Regulations established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

Article 11 (Business Hours)

The business hour of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place, Service Directories in guest rooms and others.

- Service hours of front desk, cashier's desk, etc.
 - A Closing time 24 hours open
 - B Front service 24 hours
 - C Front Cashier 7 a.m. to 10 p.m.
 - A Breakfast 7 a.m. to 9 a.m. (Restaurant)
 - B Lunch 11 a.m. to 2 p.m. (Restaurant)
 - C Dinner 6 p.m. to 8 p.m. (Restaurant)
 - D Other facilities Please check the Service Directory.
- The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

Article 12 (Payment of Accommodation Charges)

The breakdown of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the attached Table No.1.

- Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese Currency or by any means other than Japanese Currency such as traveler's checks, coupons or credit cards recognized by the hotel at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Hotel. We do not accept personal checks and non-Japanese currency.
- Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily dose not utilize the accommodation facilities which have been provided for him/her by the Hotel and at his/her disposal.

Article 13 (Liabilities of the Hotel)

The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the non-fulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in cases when such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.

- Even though the Hotel has received the "PASS MARK" (Certificate of Excellence of Fire Prevention Standard issued by the fire station.) furthermore, the Hotel is covered by the Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

Article 14 (Handing When Unable to Provide Contracted Rooms)

The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

- When arrangement of other accommodation can not be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to the causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

Article 15 (Handing of Deposited Articles)

The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to inevitable causes. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report its kind and value but the Guest has failed to so, the Hotel shall compensate the Guest within the limit of 150,000 yen.

- The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the Front Desk. However, for articles of which the kind and value have not been reported in advance by Guest, the Hotel shall compensate the Guest within the limit of 150,000 yen.

Article 16 (Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest)

When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his/her arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the Front